

5 支援プログラム

5つの

1

健康・生活

ねらい

- 健康状態の維持や改善
- 生活リズムや生活習慣を整える
- 生活スキルの獲得

プログラム

- 看護師による健康状態の観察と医療的ケアの実施で、身体の変化を見逃さぬよう細やかな観察を行う。またご家族の相談にも応じ、健康上の助言や支援を行う
- 楽しく食事ができるよう、口腔内機能・感覚等に配慮しながら、咀嚼・嚥下、姿勢保持、自具等に関する助言を行い美味しく食べ続けられるよう支援する

2

運動・感覚

ねらい

- 日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得と関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る
- 自力での身体移動や歩行、歩行器や車いすによる移動など、日常生活に必要な移動能力の向上のための支援を行う
- 視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊びなどを通して支援する

プログラム

- 専門職による個別リハビリ
- 看護師による関節可動域訓練やマッサージ
- マットや座位保持椅子を利用したポジショニング 座位訓練
- 触れ合い体操、バランスボールやトランポリンを使用した体幹や下肢筋力訓練など

3

認知・行動

ねらい

- 認知の発達と行動の習得
- 空間・時間、数などの概念形成の習得
- 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得

プログラム

- 認知や行動の手がかりとなる概念の形成
物の機能や属性、形、色、音が変化の様子、空間・時間などの概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援する
- 数量 大小 色など習得の支援
- 行動障害への支援
感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援を行う

4

言語 コミュニケーション

ねらい

- 言語の形成と活用
- 言語の受容及び表出
- コミュニケーションの基礎的能力の向上
- コミュニケーション手段の選択と活用

プログラム

- 話し言葉や各種の文字・記号などを用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援を行う
- 人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得、個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、共同注意の獲得などを含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行う
- 指差し、身振り、サインなどを用いて、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する
- コミュニケーション機器の活用、各種の文字・記号、絵カード、機器などのコミュニケーション手段を適切に選択、活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるよう支援する

人間関係 ・ 社会性

ねらい

- 他者との関わり(人間関係)の形成
- 自己の理解と行動の調整
- 仲間づくりと集団への参加

プログラム

- アタッチメント(愛着行動)の形成、人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う
- 模倣行動の支援
遊びなどを通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援する
- 感覚運動遊びから象徴遊びへの支援
感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、見立て遊び、ごっこ遊びなど一緒にいき徐々に社会性の発達を支援する
- 一人遊びから協同遊びへの支援
周囲に子どもがいても無関心である一人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して一緒に遊ぶ、ルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する
- 自己の理解とコントロールのための支援者が介入して自分のできること、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援する
- 集団への参加への支援
集団に参加するための手順やルールを理解し、支援者が入り遊びや集団活動に参加できるよう支援する

行動には支援者が介入しながら集団への参加を支援する

具体的には一緒に手遊びをしたり、ボール投げ、ボールけりをしたり、順番を待ちながらトランポリンやバランスボールで遊ぶ